



諏訪酒造株式会社

安政6年(1859)創業。智頭から世界へ。智頭の米・水・人(技術)で世界スタンダードの日本酒を醸造しています。

インドで日本酒を広めているラビ・ジョシさんらと智頭宿雪まつりにて



諏訪酒造から輸出している日本酒

海外では、「日本酒はどんな食事にもあう」と喜ばれます。

■メイドイン智頭を世界へ

元々、アメリカやフランスには日本酒を輸出していましたが、未開拓のインド市場にも輸出を決めました。コロナ禍で2年ほどかかりましたが、昨年11月末からはテスト輸出も開始しており、今年はいよいよ本格的な輸出を始める予定です。先日の雪まつりでは、インドの取引先から智頭町へお越しいただき、町長に表敬訪問も行いました。



町長表敬訪問の様子

しいですね。(インタビュー：東田社長)

ここで作っているお酒は、水もお米もすべて智頭産です。言い換えれば、智頭の水やお米が世界の食卓に並ぶのです。そして、お酒から智頭に興味を持った人が町を訪れるようになればインバウンドにもつながります。

現在、インドに加えてアフリカやヨーロッパの諸国にも市場拡大を計画しています。たくさんのお酒で日本酒が身近なお酒になり、智頭町を知る人も増えれば嬉しいですね。

本町では「おせっかいのまちづくり」に協賛していただける企業を募集しています。協賛金は不要で、協賛企業には広報紙での紹介や告知端末でのCM、おせっかいインターン奨学生のご紹介などメリットが盛りだくさんです。詳しくは役場企画課 (☎ 75-4112) まで。

